



第7回スピーチ集会

沃野



竹富町立
船浦中学校
学校便り
第29号

発行責任者
校長
仲田欣五

「兄の存在」 (1年 大城 昊己)



野球を終えて家に帰ってくると、「どうだった？」試合で疲れている上に負けた悔しさで落ち込んでいる僕に打順や守備はもちろん、誰が打った？さらに僕のエラーの数や試合の状況、さらに相手のピッチャーの配球、バツティングのことまで、事細かく聞いてきます。野球の経験が多い分、いろいろな指導をするので、言い返すことができません。

帰宅後に風呂に入る間もなく、一つ一つ答えなくてはならない。答えたら答えたで、あの時はあすれば良かった、こうすれば良かったのにと、アドバイスという名の説教が続きます。僕は心の中で「分かっているよ」とイライラする。また、突然始まる空気野球では必ず僕が不利になる。皿洗いジャンケンではせこい技を使って結局僕が洗うことになる。

さらに僕が学校でしでかしたことや忘れ物を長々と説教されるので、ばれたくなくてもばれてしまう。皆さんにとっては、小さいことのように思われるかも知れないけど、これが日常だと正直きついです。

なので、スピーチ集会で仕返しものつもりで暴露しようと思ったのに、いろいろ考えて見ると、野球に関すること、例えば、キャッチャーに慣れない僕への的確なアドバイスや肘のケガの心配をしてくれたり、何だかんだ言っても自分の身近にいて、僕のことを分かってくれている存在。時には厳しく、時々優しくしてくれることに気づきました。

今は、当たり前のように一緒に過ごしていますが、よく考えると4ヶ月後には説教されることも、けんかをすることも、冗談を言い合うこともできなくなります。だから兄の言葉を受け止め、大きく成長するしかありません。残り少ない期間、色々野球に関するアドバイス、また、勉強のやり方などを教えてください。2年後船中野球部は中体連夏季大会で県大会出場を目指すために僕がチームの中心となり、引っ張っていきます。それが一番の兄への仕返し…ではなく恩返しになるのかなあと 생각합니다。受検勉強、がんばってください。

日々、僕が言っていることを一応は聞いているんだなあとスピーチで分かりました。今度の試合は、自分でいろいろと試してゲームを作っていつか勝てるように頑張ってください。いい報告を待っています。

(3年 大城 空也)

「僕の家族」 (1年 砂川 侑音)



皆さんの家族は、どんな家族ですか？今日は、僕の家族を紹介します。父は普段とても静かです。父の尊敬するところは、いつも黙々と働いて毎朝4時に起きてそばの出し汁など、昼食の準備をするところです。仕事をしている時は、近寄りたいたいオーラを感じます。西表に来る前に、内地で調理人として働いていたようで、料理に関しては、とても厳しい方だと思います。

母は、僕のことを思ってガミガミうるさいです。家で、ダラダラとゲームをやっている時や、手伝いをしない時などは、厳しく説教します。しかし、僕のことを思って、仕事の合間にご飯を作ったり、洗濯、家の掃除など、家事を率先してやります。そんな母を頼りにする時はたくさんあります。

兄は4月から本島の高校に進学したため、家にはいませんが、兄とは中学生の時、ほぼ毎日けんかして会話もなかったけど、高校へ進学してからは、西表に戻ると優しく接してくれるようになりました。僕は今まで兄と話していて楽しいなどと思ったことはなかったで、少しビックリしています。

家は離れますが、西表には、母の両親である私から見て祖父母がいます。祖父は毎日農業をしてマンゴー栽培やイノシシ狩りをします。マンゴーを育てるために、たくさんの土地が必要で、畑やハウス手入れなど、やることはたくさんあるそうです。僕は毎日頑張っている祖父が格好いいです。

祖母は、一番優しく「何か欲しいものはなか？」と笑顔で話してくれます。そして、僕の癒やしになっているのが、ペットの愛犬です。5年前、我が家の家族になり、夕方散歩をしたり、一緒に遊んだりすることが楽しみの一つです。

僕にとっての家族は、とても身近な存在で、無くてはならないものです。時にはけんかをしたり、面倒くさい、うるさいと思う時はたくさんあります。しかし、中学校に入学してからも、学校行事に参加してくれたりするので、今、家族の大切さをとても実感しています。

島で過ごす時間も限られています。家の手伝いは当たり前にする。言われないでも自ら進んで行動することなどを心がけていきたいです。皆さんにとって家族とはどんな存在ですか？

いつもアドバイスをしてくれたり、心配などしてくれる存在は、大切なんだと思いました。身近な人への感謝が大切だと感じました。

(1年 津嘉山 涼)

家族に対して、たまに不満もあるけど、いなくてはいけない存在だから、日頃から家族について考えて接するのがいいと思います。スピーチお疲れ様でした。

(1年 渡辺はるか)